

令和3年度 評価計画及び自己評価

(計画)・中間・最終)

函城中学校区 校番 19 学校名 呉市立函城小学校

a 学校教育目標	(貫) 「心豊かに、自立する」	b 経営理念 ミッション・ビジョン	(ミッション)(学校の使命) 郷土を愛する心豊かでたくましい児童を育成するため、地域や保護者との協働のもと、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育み、求められている資質・能力を育成する教育を推進する。 (ビジョン)(将来の学校像) 教職員が力を合わせ、児童の力を伸ばし、共に高まる活力ある学校。
----------	-----------------	----------------------	---

c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点	本中学校区では、二川教育プランの取組をより充実させ、各部の協働により学力・体力の向上と豊かな心の育成を図ってきた。今年度も昨年度までの取組を継続しつつ、課題を明らかにしたより具体的な取組を進める。「主体的に学び、主体的に関わり、主体的に高まる児童の育成」
------------------------------	---

育成を目指す資質・能力	○知識・技能 ○思考力・判断力・表現力 ○主体性
-------------	--------------------------------

評価計画(中期経営目標を設定してから 1・②・3 年目)						自己評価					
重点	d 中期(3年間)経営目標	e 短期(今年度)経営目標	f 目標達成のための方策 (こんなことをして達成します)	g 指標 (効果を見とる目安)	h 目標値	上半期			下半期		
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価
*** 貫 確かな学力の向上	確かな知識・技能の習得と、活用力(思考力・判断力・表現力)を身に付けた児童の育成を図る。	基礎学力の定着を図る。	スキルタイムや学力補充の時間に知識・技能を定着させるための反復練習を行う。	国語科・算数科の単元テストの知識・技能の平均点	85	88	104	A			
		考える授業づくりを行う。	①算数科において、自分の考えを表出する場を設定する。 ②ICT(タブレット等)を活用して自分の考えを表出する場を取り入れる。	算数科の単元テストの思考力・判断力・表現力の平均点	80	81	101	A			
* 貫 豊かな心の育成	自他を大切にしながら共に高まり合う児童の育成を図る。	つながりを深め相手を思いやる人間関係づくりを行う。	たてわり班活動において、互いのよさを意識した活動をさせる。	児童アンケートで「友達のよさを見付けることができた」と答えた児童の割合	80	100	125	A			
		目標達成に向け、気づき・考え・行動できる児童の育成を図る。	生活目標の個人ふり取りカードの充実を図り、生活目標を意識した行動をさせる。	毎月の「個人ふり取りシート」での達成率	85	76	89	B			
** 健やかな体の育成	体力向上と健康増進の意欲を高める。	自己の課題を明らかにし、体力向上を目指す児童の育成を図る。	①準備運動の時間等を活用し、体育科の授業全てにサーキットトレーニングを取り入れる。 ②その場でできる握力運動を朝の会等を活用して毎日行うようにする。	握力の記録が県平均を上回っている児童の割合	80	35	43	D			
		新型コロナウイルス感染予防のため、規則しく生活し、免疫力を高め、健康増進を目指す児童の育成を図る。	生活リズムカードを活用し、自らの生活を振り返らせ規則正しい生活を意識付ける。	寝る1時間前にメディア(テレビ・ゲーム・スマホ・タブレット等)の使用をやめる児童の割合	80	80	100	A			
		防災教育の充実を図る。	学校安全計画を基に、各教科等の指導の中で防災教育の充実を図る。	「呉市防災教育のための手引き」を活用して、防災教育を実践した学級の割合	100	100	100	A			

業務改善	教職員が自らの意欲と能力を発揮できる教育環境の整備	児童生徒と向き合う時間の確保	行事や日課等を見直し、職員が児童と向き合う時間を確保する。	児童生徒と向き合う時間が確保されていると感じる教員の割合	80	100	125	A			
		長時間勤務の削減	毎日退校目標時刻を設定するとともに、週1回定時退校日を設ける。	時間外勤務が月45時間以内の教職員の割合	100	93	93	B			

【k: 評価】
 A: 100≦(目標達成) B: 80≦(ほぼ達成)<100
 C: 60≦(もう少し)<80 D: (できていない)<60